

改題 土楽たより

どうらく

Kogure 農場 6月号 (NO74)

2016年6月10日 (金) 発行 (毎月10日)

【農暦】緑が破壊されたイメージは否めない!

○5日は芒種である。稲や麦など穂の植物の種を蒔く頃のこと。稲の穂先にある針のような突起を芒という。前にも同じことを書いたが、今では田植えの時期になっている。種を蒔くのが1ヶ月早くなっているの、ハウスの中で育苗している。田んぼも浅緑から深い緑になり、緑の絨毯が広がる。緑の季節は続く。柏の小さな庭の緑は歩くところを塞ぐ勢いである。隣家の生茂った庭木がバサリと整理されたこともあり、こんな時期にと思ったが、ご近所迷惑を考えて、梅、椿、桃の剪定を業者をお願いした。聞けば花の後なら問題ないという。街路樹の倒木事故のニュースをやっていたが、自然と折り合いをつけるのは難しい。



<カリブラコア>シャル・ウィ・ダンスの名も、花言葉は“あなたといると心が和む、玄関の鉢に。3日撮影

○畑の草でいつも思うことであるが、オイヌノフグリなど愛でるなどしていたらあっという間に草だらけになってしまう。去年は葛の脅威にさらされた。柿、プラム、キュウイ、そして小屋までも飲み込む勢いである。テレビで家を覆いつくした映像を見た時には怖さを感じた。剪定ですっきりはするが、緑が破壊されたイメージは否めない。

○これからは草の繁茂力が旺盛になる。草との折り合いを如何につけるか、心配になる。今の時期には決まって考える。草払機やトラクター耕起などでの除草を心掛けるとか。野菜は温度×時間で生育するというが、草にはその数倍の生長力がある様に感じる。これからは日射病も気になる。朝が遅いという生活スタイルが直せない。長い間の生活習慣は中々治せない。体力は更に落ちる。2居住などの条件もある。等々と、変わらないこともあるが想定外の激変に近い。ここ10年のして来たこと、あったことなどの回想を始めてしまう。除草のことから栽培品目を考える。甘かったと判った時には失敗している。

○草のことから、ピッコロファーマー (小さな農夫=私のこと) の夢のことまで考える。日々追われる生活から“毎日サンディー”の生活に戸惑いながら下手の横好きを多くしてきたこと。夢は何処まで進捗したのだろうと考えた時に、今の畑の景色がその結果である。と思うと辛い。だが、半分は満足している。別の生活を選択していたら健康を害していたかもしれないと、考えるからである。日野原さんは“若者に老人が楽しく生きている姿を見せなくてはなどと言われる”が、楽しく生きたいと思う。また、少しでも社会の役

に立ちたいと思う。だが難しい。

○花は置かれたところにしか咲くことは出来ないと言う。人間もある意味では同じである。出自や資質や能力などで選択肢は限りなく縮まり、小さくなる。その限りでは花と同じである。江戸期までは農夫は田から離れることが許されなかった。今は自由になった。孫悟空の話で何億里飛ぼうがお釈迦さまの手のひらだったという。毎日サンディー”という自由が上手く使えない。現役時の培われた資質や生活習慣に囚われている。お釈迦様の手のひらで、いたずらに駆け回っているだけと思えてくる。回想は、ここまで来て終わる。

○ダメな自分を自覚しながら、トマト、茄子、ピーマンなどに水遣りをしている。8日には何度目かのトラクター耕起をした。黒豆、小豆の播種の下準備である。ブルーベリー、空豆、ジャガ芋もそろそろ収穫になる。トマトの実も大きくなり始めた。農を楽しみたい。



＜トマトの桃太郎＞実をつけ始めた。3日撮影

【楽農】除草継続中、水遣りも！

＜畑A＞；草払機で除草（家の周辺も）。

＜ハウス＞；落花生（大まさり）ポットに種まき。

＜畑B＞；トラクターで耕運（黒豆、小豆の播種の下準備）。
草払機で除草。

*アスパラガス、サラダ菜など少量収穫。



＜枝豆＞2本植えと1本植えにして生育など観察してみたい。1日撮影

【楽市】イベント交流・直売など

○その他；TBG大会（15日）男女共同連絡協議会総会（21日）1日民家体験・魅力発信隊（10日）に参加など。

【つぶやき=Tweet】私もアモーレミオと言ってみよう！

○2日にサッカーの長友佑都選手が「僕のアモーレですね」平愛梨さんへ恋人発言した。翌3日のブルガリア戦で素晴らしいアシストで香川真司選手がゴールを決めた。“アモーレ（平愛梨）”が観戦席で小躍りしていた。微笑ましい光景に愛のお裾分けを頂いたような気がした。試合は7-2で圧勝した。ブルガリアンもレベルが高く、それを凌ぐ好プレイが続き久振りにいい試合の観ることが出来た。勝敗だけでなくいい気分である。

○長友佑都選手のアモーレ発言を聞き、昭和60年代に見たピニト

ロ、ジェルミ監督の映画「刑事」を思い出した。映画のアモーレは女性からのものでした



＜一日民家体験＞いな吉も。若い笑顔に何が残った？。10日撮

が、You tube で録画を見た。映像と共に流れる“アモーレ、アモーレ、アモーレ、アモーレミオ”の死ぬほど愛しての旋律には酔いしれさせるものがある。アモーレが早くも流行語大賞になるとか、私もアモーレミオと言ってみたいものである。一瞬タイムスリップしていた。こんなせつない気分一時でもなれたらいいと思う。

○下重暁子さんの「若者よ、猛省しなさい」の連載を読んでいる。「恋と愛の境は、、恋は、心の中だけのもの。そして愛は、性愛を含み、さらに二人の間柄が深くなったことで一致した、、(小池百合子との対談で)。恋をしたことのない若者が増えているという。不幸だと思う。いや、心を無駄にわずらわせることがなくて幸せといった方がいいのか。無駄なことほど大事なはずだが、それを許容するゆとりがないのか。感受性に欠けているのか。恋に落ちる勇気がないのか、、恋をしたことがない人は、、気の毒である。」



<花の木>名を失念。元会社の仕事仲間が植樹してくれた。枯れて来ていたが復活。3日撮影

○さらに続く「このところ不倫報道がかまびすしい、、今の世の中、自由なようでいて、不倫という名の恋愛を面白がったり、噂するだけではならず、マスコミがまるで悪事を働いたかのようにとり上げ、あげくのはてに、CMのみならずバラエティー番組まで全てからベッキーを降ろしてしまう。恋は犯罪ではないのに。そうした風潮が恐ろしい。もっと包み込むゆとりを持ちたい。真剣な恋を、他人がとやかく言う権利はない。人の非を見つけ、あばき出す、ぎすぎすした社会ではなく、許すことを知る寛容さを持っていたいと思う。」首肯することばかりで、長い引用にしてしまった。マツコ・デラックスが不倫報道についてコメントを求められて一瞬困った顔をしてから“ルールを変える時期が来ているのでは”と云っていた。幸福度などの問題だと思うが、フランスでは事実婚制度で少子化対策には成功している。

○少し重い話になって来たが、「若者よ、猛省しなさい」の連載の隣のページにあったので、一部を引用する。森村誠一さんは安保法に反対して“「開戦時三点セット」が用意された。「特定秘密保護法」(かつては治安維持法)「国家安全保障会議」(大本営)「集団的自衛権行使容認」(軍事同盟)の3点である。”と言っている。安保法と戦時中のものと比較して指摘している。多くの作家や芸能人などの発言が紹介されていた。参議院選挙を来月に控え“平和”のことを少し考えたいと思う。

【後記】緑の絨毯、深緑の山々。笠間に、kogure農場にお越し下さい。

HPに転載しています。

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；Kogure農場・小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

メール；torao-k@nifty.com

HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>